

Tomasz RITTER

Piano Recital with Lecture and Presentation

第1部 レクチャー(14:00~14:30予定) Part.1 Lecture

「ショパン全書簡」が提示する新しいショパン像
New image of Chopin presented by KORESPONDENCJA FRYDERYKA CHOPINA

講師: 関口 時正 (東京外国語大学 名誉教授)
Tokimasa Sekiguchi, Professor emeritus at Tokyo University of Foreign Studies

第2部 プレゼンテーション(14:30~15:00予定) Part.2 Presentation

「モダン楽器とペリオド楽器によるショパン演奏について」
Performing Chopin's music on modern instruments or on period instruments

話・ピアノ: 川口 成彦
Naruhiko Kawaguchi, Talk/Piano

*ピアニスト、川口成彦がスタインウェイと
1843年製プレイエルの両方の実演を交えて語ります。
Naruhiko Kawaguchi will perform and talk about Chopin by performing
modern Steinway and Pleyel 1843.

聞き手(第1部、第2部とも): 吉田 純子(朝日新聞編集委員)
Junko Yoshida, Senior staff writer at The Asahi Shimbun

第3部 リサイタル(15:15~17:00予定) Part.3 Recital

*トマシュ・リッテル(第1回ショパン国際ペリオド楽器コンクール優勝者)が
ペリオド楽器(1843年製プレイエル)で弾くリサイタル。
Tomasz Ritter, the winner of the 1st International Chopin Competition on
period instruments, will play on Pleyel 1843.

ショパン: ノクターン ヘ長調 op. 15-1
Chopin: Nocturne in F major op. 15 No. 1

ショパン: ノクターン 変口短調 op. 9-1
Chopin: Nocturne in B-flat minor op. 9 No. 1

ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第30番 ホ長調 op. 109
Beethoven: Piano Sonata No. 30 in E major op. 109

モーツァルト: 幻想曲 八短調 K. 475
Mozart: Fantasy in C minor K. 475

ショパン: 24の前奏曲 op. 28
Chopin: 24 Preludes op. 28

—ペリオド楽器のショパン—

トマシュ・リッテル
ピアノ・リサイタル

(レクチャー&プレゼンテーション付き)

2023年

6/10(土) 開演14:00

(開場13:30/終演17:00予定)

● 浜離宮朝日ホール

都営大江戸線「築地市場駅」A2出口すぐ
Saturday, June 10, 2023 at 2 p.m. Hamarikyū Asahi Hall, Tokyo

全席指定¥4,500

主催: 朝日新聞社/浜離宮朝日ホール
国立ショパン研究所(NIFC)/KAJIMOTO

後援: 駐日ポーランド共和国大使館

協力: ポーランド広報文化センター/岩波書店/タカギクラヴィア株式会社



Embassy
of the Republic of Poland
in Tokyo



ピリオド楽器演奏が加わることで見えてくる、さらなる“真実のショパン”

2018年9月、トマシュ・リッテルはワルシャワの第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール本選で18世紀オーケストラとショパン「ピアノ協奏曲第2番へ短調」を弾き、優勝を果たした。そのとき、私を含めピリオド楽器のショパンを楽しむために会場に集った聴衆は、リッテルの演奏から「幸福感」を味わった。そして世界最高峰と言われるコンクールを主催している国立ショパン研究所(NIFC)が、「ピリオド楽器による演奏の普及」を目的に掲げた“もう一つのショパン・コンクール”を始めたことに納得したのである。

これから私たちはそれによって、ショパンが知り得なかった現代のピアノの響きによるコンクールと、ショパンが自ら弾き自ら聴いた響きのピリオド楽器のコンクールの両面から“真実のショパン(Real Chopin)”を追求することになるのだ、と。

今回の催しは、ショパン全書簡(岩波書店刊行)をテーマとしたレクチャー、第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位の川口成彦によるプレゼンテーション、そしてトマシュ・リッテルのリサイタルを組み合わせたものだ。このレクチャー&コンサートから、さらなる奥行きのあるショパン像、先述したReal Chopinが見えてくるものと確信している。

またこの先は、ワルシャワで今年10月に行われる第2回ショパン国際ピリオド楽器コンクール、そして日本では来年3月にトマシュ・リッテル、川口成彦、そしてユリアンナ・アヴデーエワ(2010年ショパン国際コンクール優勝)を加えた3人が18世紀オーケストラとショパンのピアノと管弦楽のための全6作品を演奏するプロジェクト(The Real Chopin X 18世紀オーケストラ)など、ピリオド楽器のショパンにわくわくする機会が待っている。

佐藤 正治(KAJIMOTOプロジェクト・アドバイザー)



トマシュ・リッテル(ピアノ) Tomasz Ritter, *Piano*

2018年に行われた、第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクールで第1位。

1995年ポーランドのルブリン生まれ。ワルシャワのシマノフスキ国立音楽学校を卒業後、2014年モスクワ音楽院で、ピアノとフォルテピアノをリュビモフに、チェンバロをウスペンスカヤに学ぶ。またハンブルク音楽演劇大学のルトコウスキ教授の下でピアノとピリオド・ピアノを修めた。

HIP(Historically informed performance 歴史的情報に基づく演奏)はリッテルの活動に重要な位置を占めている。M.ビルソン、A.シュタイアー、T.コッホらに影響を受け、P.マクナルティやE.ブングらのピリオド楽器のコレクター/修復家とも交流を持つ。

これまでソリストとしてポーランド放送響、シンフォニア・ヴァルソヴィア、18世紀オーケストラ、バハ・コレギウム・ジャパンなどと共演し、2019年のサントリーホールでの室内楽とカーネギーホールでのA. ルービンシュタイン記念リサイタルに出演。欧米や日本で活動を広げている。

2023年にはハイドン、ベートーヴェン、ショパンなどを収めた3枚目のCDが国立ショパン研究所(NIFC)からリリースされる予定。



関口 時正(東京外国語大学 名誉教授) Tokimasa Sekiguchi 第1部レクチャーでの講師

東京大学卒。東京外国語大学名誉教授。著書に『ポーランドと他者』(みすず書房)、Eseje nie całkiem polskie (Universitas, Kraków)、『白水社ポーランド語辞典』(共編)、訳書に『ショパン全書簡 ポーランド時代』、『ショパン全書簡 パリ時代(上)』、『ショパン全書簡 パリ時代(下)』(以上岩波書店刊。共訳)、『ショパン歌曲集』、『ポーランドのクリスマス聖歌 12のコレンダ』、『カルウォーヴィチ歌曲集』、『シマノフスキ歌曲選集I』、『ポーランド語《詩篇》のための音楽』、『シマノフスキ歌曲選集II』(以上ハンナ刊)、コハノフスキ作『挽歌』、同『歌とフラシュキ』、ミツキエーヴィチ作『バラードとロマンス』、同『祖霊祭 ヴィリニウス篇』(以上未知谷刊)などがある。



川口 成彦(ピアノ) Naruhiko Kawaguchi, *Piano* 第2部プレゼンテーションでの話とピアノ

第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位、ブルージュ国際古楽コンクール最高位。「ショパンと彼のヨーロッパ」音楽祭など様々な音楽祭に出演し、18世紀オーケストラ、[oh!] Orkiestra Historycznaなどと共演。2018年にはオランダでコンサート・ヘボウ管のメンバーと共に、室内楽形式によるピアノ協奏曲のリサイタルを行った。またモダン・ピアノでは2016年にアメリカでプーランクの「オーボエ、バソーンとピアノのための三重奏曲」最終稿を世界初演。

東京芸術大学/アムステルダム音楽院の古楽科修士課程修了。フォルテピアノを小倉貴久子、リチャード・エガールの各氏に師事。日本ショパン協会賞、日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞を受賞。CDは『ゴヤの生きたスペインより』などを発表している。

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 050-3185-6728

※オペレーター対応(10:00~18:00)

ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード: 234-285)

イープラス <http://eplus.jp>

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990

(オペレーター対応10:00~18:00 ※日・祝除く)

カジモト・イープラス



一般発売:
1/27(金)10:00~

“kajimotomusic”で検索! @kajimoto_News @kajimotomusic @kajimotomusic

【感染症対策についてご協力をお願い】

ご来場の皆様は安心して聴きいただくため、当公演では新型コロナウイルス感染症に対する感染予防、拡散防止に細心の注意を払い、様々な対応策を講じた上で公演を実施いたします。

●会場内では正しいマスクの常時着用、入場時の検温、手洗い・消毒の励行にご協力ください。また、開場中・休憩中・終演後の、密集してのご歓談をお控えいただくようお願いいたします。

●発熱や咳などの症状がある方、新型コロナウイルス感染症陽性者と濃厚接触者をご入場いただけません。●クロークの営業は停止しております。お荷物のお預かりはできません。

●当日券をご購入のお客様にはその場でお名前とご連絡先をご記入いただけます。 ※2023年1月現在のガイドラインに基づく対策です。詳細ならびに最新情報は公式ホームページでご確認下さい。

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。

●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。託児サービスをご利用ください。イベント託児マザーズ0120-788-222(要予約)

●団体料金のある公演もございます。詳しくはお問合せください。